



森づくりサポーターニュース

令和2年(2020年)9月15日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

森の散策コースと見どころ紹介(2)

コロナ禍は止まることを知りません。滋賀県もあちこちでクラスターが発生し、感染者数が日々増加しています。

8月に入り、国土交通省から県を通して、都市公園における新型コロナウイルス感染症の対策の徹底について通知がありました。内容は「『新しい生活様式』を踏まえた身近な公園利用の4つのポイント」(『①体調が悪いときは利用を控える。②すいた時間・場所を選び、ゆずりあう。③人と人との距離をあける。④こまめに手洗いをする。』)を挙げたうえで、公園を利用しましょうというものでした。本公園では、ロビーに消毒液を備えており、来園者が使用しています。また、サポーター活動やCSR活動で来ていただく皆さんは、自主的にマスクをされています。

さて9～11月、この時期の森と散策コースに目を向けてみますと、今年のブナ科のどんぐりたちは、総じて豊作のようです。秋の自然学習に備えて、下見と打ち合わせにくる幾つかの小学校の先生達とそんな話をしています。ナラガシワの実はいこれからピノキオの鼻のように長く伸びます。クヌギのとげとげ帽子の丸いどんぐりも小さくてかわいい大きさです。クリのイガは既に大きくなっていますが、これから時間をかけて熟すのでしょう。どんぐりの仲間は15種ほど植えています。例年、子どもたちには3種類は拾って持って帰ってねと言っています。



ナラガシワ



クヌギ



クリ

他にも秋はいろいろな実がなります。コブシはグロテスクな実ですね。エゴノキはエゴサポニンを含んだ実がたくさん垂れ下がっています。ガマズミは紅い小さな実をいっぱい付けますが、今はまだ葉っぱと同じ緑色です。ネムノキはマメ科の木で、大きなサヤをまとめて付けています。ヤマハンノキとオオバヤシャブシの実の大きさを比べてみましょう。また、旧センターの裏に、今年初めてオニグルミが実を付けました。熟れるのが楽しみです。実りの秋、公園の森に入って、いろんな実を見つけましょう。



コブシ



エゴノキのぶら下がった実



ガマズミの実(まだ紅くない)



ネムノキ



ヤマハンノキ



オオバヤシャブシ



オニグルミ